

2020年7月26日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**

第63巻第16号(通算3193号)

教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:15-10:30 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう

週報

教会標語

神様が創られたすべての命を
大切にす教会



ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>

【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

主任担任教師・牛田 匡 牧師

担任教師・水谷 憲 牧師

隠退教師・小林 達夫 牧師

この希望が失望に終わることはありません。私たちに与えられた聖霊によって、
神の愛が私たちの心に注がれているからです。(ローマの信徒への手紙5:5)

聖霊降臨節 第9主日礼拝

奏楽

さん

前奏 黙祷

招きの詞 イザヤ書

43章 1-3a節

賛美歌 451番「くすしきみ恵み」(©教団讚美歌委員会)

聖書 使徒言行録 27章 33-44節

お祈り

賛美歌 462番「はてしも知れぬ」(©著作権消滅)

メッセージ 「嵐の中でも、共にいる神様」

牛田 匡 牧師

賛美歌 516番「主の招く声が」(©JASRAC)

主の祈り 62番「天にいます 私たちの父」(©教団讚美歌改訂委員会)

誕生者祝福式(*) 牛田 匡 牧師

献金(**) 21-65-1番「今そなえる」

派遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(©JASRAC)

祝福 牛田 匡 牧師

後奏 アーメン コーラス (21-40-6番) (©教団讚美歌委員会)

報告 (4頁をご参照ください)

《礼拝は自由席です。おとなりの方との間隔をあけて、席にお座りになつ
たままで礼拝にご参加ください》

《礼拝中、インターネットで中継配信を行っています》

* みんなで7月生まれの方(と今年度7月までにお生まれの方)を祝福し
ます。ご遠慮なさらず、どなたでもお申し出ください。

** 「献金」は参加費ではございません。受付に献金箱がございます。
ご用意のある方のみ、お献げください。

招きの詞 イザヤ書 43章 1-3a節

1 ヤコブよ、あなたを創造された方／イスラエルよ、あなたを形づくられた方
／主は今こう言われる。／恐れるな。私^{あがな}があなたを贖った。／私はあなたの
名を呼んだ。／あなたは私のもの。2 あなたが水の中を渡るときも／私はあなた
と共におり／川の中でも、川はあなたを押し流さない。／火の中を歩いて
も、あなたは焼かれず／炎もあなたに燃え移らない。3 私は主、あなたの神／
イスラエルの聖なる者、あなたの救い主。

聖書 使徒言行録 27章 33-44節

33 夜が明けかけた頃、パウロは一同に食事をするように勧めた。「今日で十四
日もの間、皆さんは不安のうちに全く何も食べずに、過ごしてきました。34 だか
ら、どうぞ何か食べてください。生き延びるために必要だからです。あなたがた
の頭から髪の毛一本もなくなることはありません。」35 こう言ってパウロは、一
同の前でパンを取って神に感謝を献げてから、それを裂いて食べ始めた。36 そこ
で、一同も元気づいて食事をした。37 船にいた私たちは、全部で^a二百七十六人
であった。38 十分に食べてから、穀物を海に投げ捨てて船を軽くした。

39 朝になって、どこの陸地であるか分からなかったが、砂浜のある入り江を見
つけたので、できることなら、そこへ船を乗り入れようということになった。
40 そこで、^{いかり}錨を切り離して海に捨て、同時に^{かじ}舵の綱を緩め、吹く風に船首の帆
を上げて、砂浜に向かって進んだ。41 ところが、^b深みに挟まれた浅瀬にぶつか
って船を乗り上げてしまい、船首がめり込んで動かなくなり、船尾は激しい波で
壊れだした。42 兵士たちは、囚人たちが泳いで逃げないように、殺そうと計った
が、43 百人隊長はパウロを助けたいと思ったので、この計画を思いとどまらせた。
そして、泳げる者がまず飛び込んで陸に上がり、44 残りの者は板切れや^c船にある
物につかまって行くように命じた。こうして、全員が無事に上陸した。



(脚注 a: 異本では「七十六人」、
b: 直訳では「二つの海の所」、
c: 別訳では「船の乗組員」)

《先週のメッセージより》7月19日 聖霊降臨節第8主日礼拝

メッセージ「死から命へ」より

水谷 憲 牧師

聖書：ヨハネによる福音書 5章24 - 30節

様々な痛ましい死の知らせに、やりきれない思いがする。人気の若手俳優やネットの中傷に心痛めた若い女性の自死。ネグレクトによる幼子の死。交通事故の巻き添え死。逆恨みによる殺人。コロナ感染死。周りはもちろん、本人の無念さよ。近い人にしてみれば「この世に神も仏もあるものか」という思いにもなる。

キリストも、最後は痛ましい死を遂げた。「パッション」というイエスの受難を描いた映画では、むごたらしい拷問・暴行の様子が描かれる。それを笑って行う兵士や「イエスを殺せ」と叫ぶユダヤの群衆は、人の痛みや命に対する感覚が麻痺し、誰かを袋叩きにしていじめ抜くような現代の私たちの姿とそっくり。2000年経っても人間は全く進歩していない。そうしてイエスは十字架に磔(はりつけ)にされ「わが神、わが神、なぜ私をお見捨てになったのですか」と本当に悲しそうに叫ぶ。この世の不公平な、悔しい現実を前にして「やっぱ神やら居(お)らん！」と人は言いたくなる。しかしそれでも、神は心を痛めながら、私たちの様子を見て手を出したくなるのを堪えて、私たちに良くも悪くもあらゆる自由を与えて見守っておられるのだと信じたい。イエスのこの言葉は、神の御心を理解していながらも「お父さん、苦しいよ…」と神に思わず助けを求める言葉だったのだ。

神を信じるとは、私たちが神に対して苦しみを素直にさらけ出すということでもある。作家の遠藤周作は「普通、信仰者というと、その日から疑いがすべて晴れ、安心した気持ちでいる、とあなたは思うかもしれない。しかし、そんなことはありえない。みんなと同じ迷いをやり、みんなと同じ悩みをやっているのだ。ただ、どこが違うかという、そういう迷いや悲しみを知ってくれる存在があるのだという拠所(よりどころ)だ」と言う。私たちはイエスに批判された律法学者のように、見せかけの長い祈りをしてはいないか。批判されたファリサイ派のように、「神様、私は他の…のような者でなく、また、この徴税人のような者でないことを感謝します。私は週に2度断食し、全収入の10分の1を献げています」などと傲慢(ごうまん)な祈りをしてはいないか。それは、弱さをさらけ出す真実の祈りではない。神はむしろ、遠くに立って目を上げることもできず、胸を打ちながら一言「神様、罪人の私を哀れんで下さい」と言った徴税人のざんげの方を義とされた。一言でもいい、切なるざんげや感謝の思いで語り、救いを訴える者にこそ、神は目を注がれるのだ。

そうやって神に心底すがって精一杯生きた人は、たとえ肉体は滅んでも、イエス・キリストがそうであったように、神が永遠の命にあずかせて下さる。言葉による信仰告白など必要ない。精一杯生きた姿こそが、十分信仰を告白している。与えられた命を精一杯生きた人は、自死であろうとなかろうと、神は等しく天国に引き揚げ、永遠の命で満たして下さる。残された私たちも、はた目には無様であっても、神に正直な気持ちをぶつけ、神にすがりつつ、命を精一杯燃やしていきたい。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



LINE 公式アカウント



◎ 先週の報告 (7月19日)

礼拝出席 大人8名 献金 7,000円 感謝
 久しぶりに さんが礼拝に出席され、一緒に さんが初めて来会・出席
 されました。

◎次週 2020年8月2日(日) 平和聖日(聖霊降臨節第10主日) 礼拝

招きの詞 エフェソの信徒への手紙 2章 14節

聖書 ローマの信徒への手紙 14章 13-23節

メッセージ「あなたは平和に生きていますか」牛田匡牧師

賛美歌 21-499番 こ改-34番 21-524番 21-91番 奏楽 さん

礼拝の中で、ユーカリスト(聖餐式)があります。8月には「教会を考える会(役員会)」はありません。何かございましたら、牧師または役員までご相談ください。

礼拝をインターネットで中継配信いたします。中継はホームページにて10時半頃よりご視聴いただけます。

◎ お知らせ

- ・本日、礼拝後のお茶の時間の後に、釜ヶ崎・いこい食堂支援のための「おにぎり作り」を行います。毎月第4日曜日に、柏原市の特別養護老人ホーム「大阪好意の庭」で行って来ていますが、新型コロナウイルス感染予防のために、今月も教会にて行います。
- ・新型コロナウイルス感染予防のために、手指消毒とマスク着用、お隣の方との間隔をあけた着席をお願いいたします。また咳・発熱・味覚異常・倦怠感・風邪症状のある方や、新型コロナウイルス感染者と接触された方は、ご自宅でお休み頂き、お祈りをもってお過ごしください。なおご入り用の方には教会の『聖書』と『讃美歌』を貸し出しいたしますので、ご遠慮なさらず、どうぞお持ち帰りください。今後も、皆で集まる形での礼拝の休止など、状況が変わり次第、最新の情報についてはお知らせいたします。
- ・今夏の教会学校・まぶねっこクラブは、大浦農園(和歌山県かつらぎ町)での「縁農」(釜ヶ崎・いこい食堂支援)も、奈良県御杖村にある「レーベンス・シュレー」(社会福祉法人聖フランシスコ会の山)での1泊2日の「森林ワークキャンプ」も、新型コロナウイルス感染予防のためや夏休みが短くなったために残念ながら中止となりました。大浦農園には8月1日(土)にボランティアの大人たちだけで梅干し用の「シソの葉摘み」に行く予定です。
- ・毎年夏に行われている「キリスト教視聴覚教育講習会」(AVACO主催)が、今年はインターネットを用いたオンライン講習会となりました。どなたでも無料で視聴受講できるそうです。第1回8/3「みことばをやさしく伝えよう」、第2回8/10「使いこなそう視聴覚教材」、第3回8/17「歌おう『たまごさんびか』」です。詳しくはAVACO(一般財団法人日本聖書協会 キリスト教視聴覚センター)のウェブサイトをご覧ください。

<http://www.avaco.info/index.html>

◎ 次週以降の行事予定・礼拝奉仕者

	会場	奏楽	メッセージ	行事
8/2	久宝寺地区		牛田牧師	平和聖日 ユーカリスト
8/9	久宝まぶねこども園 (新園舎・教会堂)		水谷牧師	
8/16			牛田牧師	聖書を読む会
8/23	未定 (大阪好意の庭?)		牛田牧師	おにぎり支援

